

刊行のことば

国際的な食糧の流通などがなかった前近代の日本では、気温や降水量の変動が農業生産力の増減を介して、地域社会の政治・経済・文化に大きな影響を与えていたのではないかと、という議論は、これまでもたくさんあった。しかしその多くは、過去の気候変動に関する知識の制約から不完全で曖昧なものにとどまってきた。総合地球環境学研究所のプロジェクト『高分解能古気候学と歴史・考古学の連携による気候変動に強い社会システム』の探求では、過去数千年間にわたる年単位での高精度気候復元の最新の成果をもとに、多数の古気候学者と歴史学者、考古学者が一堂に会して、気候と歴史の関係の解明に正面から取り組み組んできた。本シリーズは、その最初の報告である。「歴史と気候の関係の解明のために異分野の研究者が文理の壁を越えて協力する」ということは、正に「言うは易く行うは難し」であった。しかし、だからこそ本シリーズは、世界でも全く類例を見ない最先端の驚きに満ちている。古気候データと文献史料や考古資料の詳細な対比は、気候と歴史の関係について次々と新しい発

見を生み出しつつある。気候変動は、確かに歴史を左右しているたのである。本シリーズは、日本史の背景を成すあらゆる要因に興味を持つ一般の方々や、理系の研究者・学生の方々にも、是非お読み頂きたいが、とりわけ歴史学と考古学の研究者及び学生の皆さんには、以下の点から特別にお勧めしたい。本シリーズには最新の古気候データが満載されており、今後、歴史学・考古学の研究を進めていく上で、正に必携のものになる可能性がある。本シリーズの随所にみられる高精度古気候データと文献史料・考古資料の対比の試みは、気候変動が政治・経済・社会・文化にどのような影響を与えるかについて考察を進めていく上で、大きなヒントになるに違いない。それは、地球温暖化などの現代の諸問題と歴史学・考古学が今後連携を深めていく上でも、格好の研究対象になりうる。本書を手に取り入れた皆さんの中から、新しい歴史学・考古学の研究が芽吹いていくことを期待してやまない。

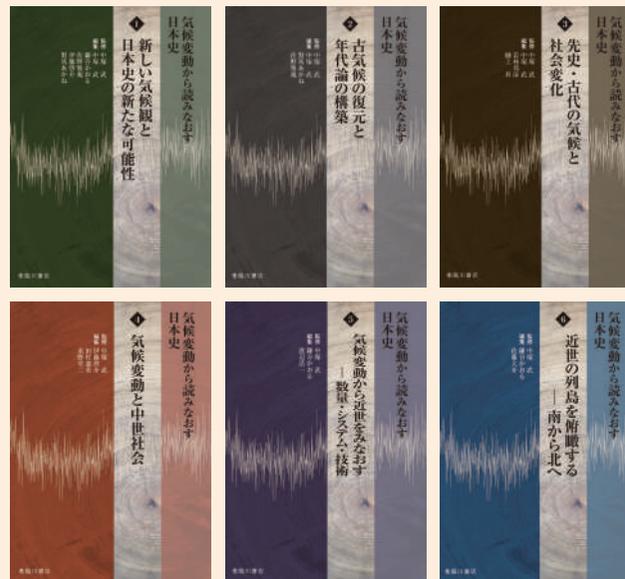
名古屋大学教授 中塚 武

2020年9月刊行開始!

気候変動から 読みなおす日本史

総合地球環境学研究所プロジェクト 全6巻

◆ A5判上製・平均300頁 各巻定価 3,600円+税
セット ISBN978-4-653-04550-7



*お近くの書店または小社までご注文ください。

臨川書店

〒606-8204 京都市左京区田中下柳町8番地 ☎(075)721-7111 FAX(075)781-6168
E-mail: kyoto@rinsen.com http://www.rinsen.com

気候変動から 読みなおす日本史

全6巻

中塚 武
監修

◆最新の気候データをもとに新たな日本史像に迫る

臨川書店

1 新しい気候観と日本史の新たな可能性

ISBN978-4-653-04501-4

中塚 武・鎌谷かおる・佐野雅規・伊藤啓介・對馬あかね編

- 第1部 新しい気候変動データは日本史の理解をどう変えるか
 - 第1章 日本史の背後にある気候変動の概観
 - コラム① 古気候復元のための代替試料（フロキシンの種類と特徴）
 - コラム② 古気候データを見る視点―変動の周期について―
 - 第2章 先史・古代史の見方はどう変わるか（変わらないか）
 - 第3章 中世史の見方はどう変わるか（変わらないか）
 - 第4章 近世史の見方はどう変わるか（変わらないか）
- 第2部 気候変動に「強い」社会を探る―歴史研究の新しい可能性―
 - 第5章 気候変動が水稲生産力に与える影響の評価
 - ―現代の農業統計データおよび近世・中世の古文書記録からの推察―
 - 第6章 時代間での社会応答の相違―先史・古代から近世まで―
 - 第7章 地域間での社会応答の相違―近世日本の事例から―
 - 第8章 気候変動に対する社会応答のあり方を「分類」する

2 古気候の復元と年代論の構築

ISBN978-4-653-04502-1

中塚 武・對馬あかね・佐野雅規編

- 第1部 高時間分解能古気候復元の進展
 - 第1章 世界と日本における古気候復元研究の状況
 - 第2章 降水量―樹木年輪同位体比（セルロース酸素同位体比を用いた夏季降水量の復元）
 - コラム① 年輪酸素同位体比の年層内データの利用による時間分解能の向上
 - 第3章 気温―樹木年輪幅・密度（年輪内最大密度を用いた富士山における夏期気温の復元）
 - 第4章 降水・気温―古日記（歴史天候記録に基づく気温・降水・日射量・台風の復元）
 - コラム② 日記を用いた研究の可能性―人はなぜ日記に天気を記すのか―
 - 第5章 水温・気温―堆積物（日本人と日本社会が経験した気温変動）
 - 第6章 水温・塩分・サンゴ（造礁サンゴ骨格年輪を用いた過去の海洋環境の復元）
 - 第7章 気象災害―古文書（中世文献史料を利用した気候変動の復元）
 - 第8章 データ同化技術による古気候データと地球システムモデルとの統合
- 第2部 新しい年代論の構築
 - 第9章 酸素同位体比年輪年代法の開発
 - 第10章 酸素同位体比クロノロジーの時間的拡大と応用
 - コラム③ 東アジアへの展開
 - 第11章 炭素14年代法による高精度年代測定

3 先史・古代の気候と社会変化

ISBN978-4-653-04503-8

中塚 武・若林邦彦・樋上 昇編

- 第1部 総論
 - 第1章 先史・古代における気候変動の概観
 - 第2章 先史時代（縄文・弥生・古墳）の年代と時代区分
 - コラム① 炭素14年代法のための日本版校正曲線「校正」と酸素同位体比年輪年代法
 - 第3章 水田稲作の伝播―人々の移動と気候変動― 弥生早期～中期末
- 第2部 国家の形成と変容
 - 第4章 気候変動と古代国家形成 拡大期の地域社会構造変化の相関
 - ―降水量変動と遺跡動態から―
 - 第5章 岡山平野における居住高度の通時的推移と気候変動
 - ―弥生・古墳時代を対象に―
 - コラム② 日本列島の国家形成論
 - 第6章 日本古代の気象と王権―九世紀後半の全般的危機―
- 第3部 集落と景観
 - 第7章 南西関東縄紋中期後葉から後期前葉における推定人口と気候変動
 - コラム③ 集落データ集と列島古代の地域差
 - 第8章 東海地方における弥生～古墳時代の遺跡変遷と気候変動

4 気候変動と中世社会

ISBN978-4-653-04504-5

伊藤啓介・田村憲美・水野章二編

- 第1部 中世の環境と景観
 - 第1章 中世における気候変動の概観
 - 第2章 古代・中世の景観変化と気候変動
 - ―東京湾東岸における沖積平野の変遷を中心に―
- 第2部 災害・飢饉への対応
 - 第3章 一〇世紀を中心とする気候変動と中世成立期の社会
 - ―降水量変動と国家的祈雨儀礼をめぐる覚書―
 - 第4章 一〇～一二世紀の農業災害と中世社会の形成
 - 第5章 「大飢饉」のない一四世紀―三世紀の社会の変化と飢饉への対応―
 - 第6章 中世の風害と気候変動
- 第3部 荘園制とのかわり
 - 第7章 一〇～一二世紀の気候変動と中世荘園制の形成
 - 第8章 一〇世紀末～一二世紀の気候変動と荘園の認定
 - 第9章 一四～一五世紀における荘園の農業生産の変動―播磨国矢野荘を中心に―
 - 第10章 東寺領山城国上久世荘の自然災害―古気候データと史料の検討から―

5 気候変動から近世をみなおす

ISBN978-4-653-04505-2

鎌谷かおる・渡辺浩一編

- 第1部 列島レベルの数量的分析の可能性
 - 第1章 近世における気候変動の概観
 - 第2章 近世日本の農業生産力と気候変動―免定分析を中心に―
 - 第3章 近世日本の人口と気候
 - 第4章 備荒貯蓄と気候変動
- 第2部 江戸幕府と中央市場
 - 第5章 近世日本の中央市場と気候変動
 - 第6章 天明期江戸連続複合災害への巨大都市の対応
- 第3部 技術と社会
 - 第7章 近世の気候変動と地下水コンモンスの管理―福栄輪中の株井戸制度―
 - 第8章 稲の品種と冷害対応―東北地方の近世稲作―

6 近世の列島を俯瞰する

ISBN978-4-653-04506-9

鎌谷かおる・佐藤大介編

- 第1部 温暖
 - 第1章 琉球における社会危機と復興―一九世紀前半の「上からの村落立て直し」と褒賞―
 - 第2章 近世種子島の気候変動と地域社会
 - 第3章 文化期の気候と加賀藩農政
- 第2部 寒冷
 - 第4章 天明～天保期の災害・飢饉と広島藩社会の対応
 - 第5章 北関東下野における天保の凶作・飢饉と在地社会の応答
 - 第6章 仙台藩における天保の飢饉への社会的対応